

2007年6月1日

各 位

双日株式会社

双日、西豪州の鉄鉱山権益 30%を取得
～ 鉱山開発から製造販売までの一貫事業を検討 ～

双日株式会社は、豪州の鉱物資源開発会社のグランジェ・リソーシズ社（本社：西オーストラリア州パース、Grange Resources Limited）が保有するサウスダウン鉄鉱山権益の 30%を取得することに合意しました。今後両社は、生産した鉄鉱石をマレーシア等の第三国に建設するペレット工場でペレットに加工し、製鉄原料として中東やアジアの製鉄会社に販売する一貫事業への参入を目指します。双日は、鉱山開発から付加価値を付けたペレット販売まで行うことで高い事業収益の確保を見込みます。鉱山開発とペレット工場建設まで進んだ際のプロジェクト総額は約 1200 億円が見込まれており、現在の相場より想定されるペレット販売事業の年商は約 840 億円（約 7 億ドル）となります。

双日とグランジェ・リソーシズ社は共同で事業化のための準備および検証を進め、2008 年に事業に着工し、2010 年の操業開始を目指します。事業化までには両社の他にもプロジェクトに関心を示している有力パートナーの参画も確定させる方針です。ブラジル産鉄鉱石の取り扱いで最大手の双日が鉄鉱石鉱山の権益を取得することは初めてとなります。

サウスダウン鉱山で生産される鉄鉱石は鉄分が多く、シリカとアルミナの含有量が 3%以下と低いいため高付加価値のペレットを生産するための条件に適しています。また、ペレット供給において、現状、市場の大半を占めるブラジル産と比べ、販売対象となるマーケットである中東やアジアに近く、輸送コストが安いこと等の理由より競争力を有しております。

パースの南東約 415km に位置するサウスダウン鉱山から採掘された鉄鉱石は、破碎、選鉱、磨鉱過程を経た後、ペレット原料として約 100km 離れた積出港のアルバニー港までパイプラインで運ばれて輸出されます。サウスダウン鉱山の推定埋蔵量は約 4 億 7900 万トで、操業開始予定の 2010 年から 2031 年までの 22 年間、年間 700 万トの生産が予定されています。

以上



【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03 - 5520 - 3185